令和８年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策　【松江市立 意東小学校 】

(1)学力調査結果から見られた傾向

教科		分析(成果○，課題●)	改善策(・)
国語	成果	○文章全体の構成の理解(大問1一、大問3一)や、基本的な漢字の読み書き(大問2三ア)が定着している。 ○動画の工夫の読み取り(大問1二(1))など、視覚的な情報から意図や表現を捉える力に強みが見られる。	・条件を整理して文章を構成するために「チェックリスト」を活用した書き方指導を実施する。 ・文章のつながりや表現の効果について、考えを深めるための話し合いを行う場面を授業に取り入れる。
	課題	●複数の条件(文字数・引用・考えなど)を整理してまとめること(大問2四)に大きな課題がある。 ●段落のつながり(大問2二)や、文章表現が与える効果(大問1二(3))を的確に捉える読解力が不足している。	
算数	成果	○体積の公式(大問1(1))、数の作成(大問3(1))、帯グラフの読み取り(大問4(4))など、基本的な数や公式に対する理解や基本的なグラフの読み取りができている。	・複雑に情報が書かれた問題や資料から、問題解決に必要な情報を整理し、読み取る問題を準備し、取り組めるようにする。 ・「根拠・理由・結論」を順序立てて説明した記述例や、型を提示し、論理的な表現力を高める授業の工夫を行う。 ・図や数直線などを活用し、割合や分数の意味や概念への理解を深める指導を行う。
	課題	●複数の条件が提示されている表から情報を読み取る力(大問4(3))や、割合の立式(大問2(2))、数直線上の分数の理解(大問3(4))に課題が見られる。 ●考えた過程や根拠(数値・データ)を用いて、言葉で論理的に説明する記述問題(大問1(4)、大問4(1))に難しさがある。	

(2)質問紙調査から見られた傾向

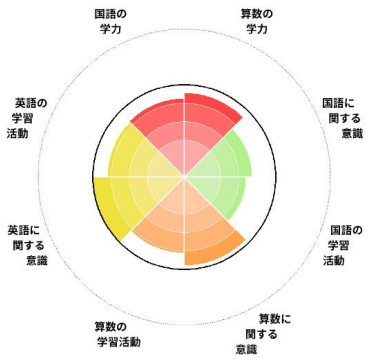
		分析(成果○:強み/伸ばしたい点，課題●:弱み)	改善策(・)
質問紙	成果	○朝食を「食べている」「どちらかといえば食べている」と回答した児童が合わせて88.9%にのぼり、毎日の登校や学習の基盤となる基本的な生活習慣・リズムが維持されている。	・家庭と連携し、生活リズムやメディア利用ルールの見直し、家庭での会話を促す工夫を進める。 ・児童のよさを認める関わりを増やし、間違いを恐れず安心して発言できる学級の雰囲気づくりに取り組む。
	課題	●平日のメディア利用時間(スマホ・動画等)「2時間以上」が62.9%(4時間以上も18.5%)、家庭で学校の勉強について話す頻度「ほぼ毎日」が22.2%(全国 40.6%)となっており、家庭での学習環境や学習習慣に課題が見られる。 ●『自分にはよいところがある(14.8%)』や『意見を否定されない(11.1%)』の割合が低く、自分のよさを自覚することや、安心して発言できる雰囲気づくりが課題である。	

(3)その他、今後校内研究等学校全体で特に力を入れて取り組むこと

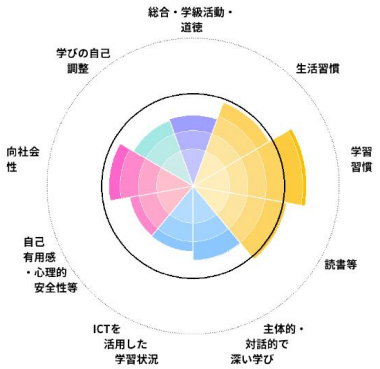
学校全体	・教科を問わず、「条件を整理して書く型」や「根拠(数値・理由)を示して説明する構成」を意識したレイアウトの問題やワークシートを作成し、取り組む時間を授業内に設けることで論理的に記述・表現する力を育む。 ・授業において複雑な表や複数の資料から必要な情報を比較・整理する活動を意図的に取り入れる。 ・児童の考えや工夫を具体的に認める関わりを徹底し、自分のよさを自覚させるとともに、間違えても安心して発言できる雰囲気づくりを進める。 ・家庭と連携してメディア利用等の生活習慣改善を図り、学校での学びを家庭で会話する機会を増やす取組を行う。

(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)

［教科を中心とした学力・学習状況］
(全国基準)



［その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）］
(全国基準)



【受検者数】

27 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。

(5)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)

